



写真：本寺公民館での破碎作業風景

11月19日(日)午前8時30分より、美8、9区内で景観阻害要因となるFRPサイロの撤去作業が行われました。必要な機械を参加者で持ち寄り、作業を開始しました。再利用するサイロについては、各戸から本寺公民館に集めました。また、廃棄サイロについては破碎し、分別を行ったうえで廃棄処分としました。撤去数は全部で16基で、そのうち、再利用9基、廃棄処分7基となりました。ご協力いただきありがとうございました。

サイロ撤去作業を実施

史跡の管理道刈払い



11月26日(日)開催

写真上：伝ミタケ堂での集合写真 左下：山王窟での作業状況 右下：不動窟での作業状況

「骨寺通信」

第20号

本寺地区地域づくり
推進協議会会報
E-Mail
honedera@mx21.tiki.ne.jp

晴天に恵まれ

史跡への管理道を刈払い

11月26日(日)に、山王窟、伝ミタケ堂跡、不動窟、慈恵塚への管理道を刈払いました。
当日は晴天に恵まれ、午前8時30分に延べ35名の方々が各史跡前に集合し、打合せを行った後、作業に入りました。通るのに邪魔になる枝や笹を刈払い、各班ともお昼には作業を終えることができました。
山王窟の刈払いに参加した方からは、「刈払いの距離は最も長かったと思いますが、手分けしてスムーズに進めることができました。山王窟からの帰りは「男岩女岩」を通るルートが刈払いも行い、男岩女岩を初めて見る事ができました。」と驚きの声も聞かれました。参加者らは、見晴らしが良く、歩きやすくなった管理道を満足そうに見ていました。

「陸奥国骨寺村絵図」を見て

平泉から骨寺村までの古道を探訪

11月18日(土)平泉町の中尊寺講堂で展示公開されている「陸奥国骨寺村絵図」を見学しました。今回の企画は、中尊寺と骨寺村の深い関係を知ってもらうため、参加者は北嶺澄照執事の案内を受けながら、絵図に見入っていました。

見学後は、平泉と骨寺村を結ぶ古道の探訪会を実施しました。バスで平泉町戸内地区まで移動し、そこからは徒歩で古道を歩きました。戸内地区から和山牧場を通って山谷地区へ、そして慈恵塚まで約3時間かかりました。参加者は「溪谷に沿った林道や、木立を縫うように歩いた山道など、晩秋の落葉を眺めながら、当時の人も同じ景色を見ながら骨寺に向かったことに思いを馳せ、時空を超えた共感を覚えるような、気持ちの癒される古道探訪会でした。」と感想をのべ、中世に思いを馳せていました。



写真：絵図に見入る参加者

骨寺村荘園農地整備推進協議会設立

11月4日(日)午後7時から一関生活改善センターにて設立総会が開催されました。来賓として一関市坂本助役をはじめ、一関総合支局松川支局長、岩手大学広田教授の出席を頂き、地域づくり推進協議会からは佐藤会長が出席しました。この後、農地整備推進協議会の会長に佐藤勲氏を選任し、これからの活動計画について説明を受けました。

この協議会は景観保全と持続可能な農業経営を確立するため、景観保全型農地整備の推進を図ることを目的として設立しました。これからの活動については、これまでの地域づくり協議会土地改良部会での検討を土台に、受益者の意向把握に努め、事業推進を図っていきます。



写真：挨拶をする佐藤勲会長